



URL: <http://kyushu1-saiki.sakura.ne.jp/nippou-kaigan/nippoukaigan.html>

みなさん、シーニック・バイウェイという言葉を知っていますか？ シーニック・バイウェイとは、アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)という意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる約123のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。

今月のシーニック・バイウェイ



朝もやの「日豊リアスライン」

この写真は、九州風景街道「道のフォトコンテスト 第1回ルートグランプリ2011冬・春」の日豊海岸シーニック・バイウェイルートでの優秀賞写真(道の景観部門)です。

日豊海岸の少し入り込んだ国道388号、朝もやの向こう側に海を予感させる写真です。

撮影者: 岡さん

地域資源（宝）の紹介コーナー

このコーナーでは、日豊海岸シーニック・バイウェイエリアの旬の地域資源（宝）等を紹介します



地域で活動する人



◆井上 清三(いのうえ きよみ)さん NPO法人「蒲江の海」 理事長

たかひら展望公園の「のじぎく」は、佐伯市蒲江を代表する秋の風物詩ですが、近年、鹿の食害や連作障害等で壊滅状態になっていました。

そこで、たかひら展望公園の管理者であるNPO法人「蒲江の海」では、地域住民や行政と連携し平成22年度より、「のじぎく」再生に取り組んでいます。今年は、幾重にもなる鹿ネットの設置や早朝からの草取りや水やり、ビニールハウスでの植栽等の苦勞が実り、たくさんの「のじぎく」の実がついています。

11月中旬から12月上旬頃までが「のじぎく」の花の見頃となっています。空高く、可憐な花咲く花岬、たかひら展望公園の秋を満喫してください。



のじぎくに水やりする井上さん



幾重にも張られた鹿ネット



のじぎくの花と蒲江の海



歴史・文化資源



◆富尾神社の丸市尾神楽(大分県佐伯市蒲江)



県指定無形民族文化財の「丸市尾神楽」

丸市尾神楽は、丸市尾に鎮座する富尾神社の春と秋の大祭に奉納される神楽です。本神楽は、佐伯神楽とほとんど親近関係のない、県下では特異な日向系岩戸(いわと)神楽です。これは、蒲江がリアス式海岸で交通が不便だったため現在の北川町から伝授されたと伝えられています。

昭和43年3月29日に県の無形民族文化財の指定を受けています。

秋の大祭(霜月祭り)は、11月20～21日に開催されます。

◆三川内神楽(宮崎県延岡市北浦町三川内)

北浦町三川内の5地区には、「岩戸」の演目を重要とした岩戸目標(いわともくひょう)の神楽が江戸中後期から継承され、霜月に奉納されています。演目や芸態、舞座の作り方など同じであるため、総称して三川内神楽と呼んでいます。同じ北浦町でも海岸地区(古江、市振、宮野浦)の神楽と山間地区(三川内)の神楽では特徴が異なります。



町指定無形民族文化財の「三川内神楽」

自然や歴史、食、人など旬な地域資源がありましたら、情報の提供をお願いします。



食



◆日豊海岸「ぶんご丼街道2011」開催中！！
 臼杵市・津久見市・佐伯市の共通資源である「海の幸・山の幸」を活用して、「丼」をテーマとした『ぶんご丼街道』が開催されています。
 今や県南の名物として定着した『ぶんご丼街道』も、今回で第5弾となり、今回も旬の新鮮な食材を使った各店自慢の丼が、ど〜んと勢ぞろいしています。この機会にぜひお出かけください!!
 ● 丼街道は、平成24年2月29日(水)までです。●

日豊海岸「ぶんご丼街道2011」のHPはこちらから
<http://blog.nippo-lias.com/>

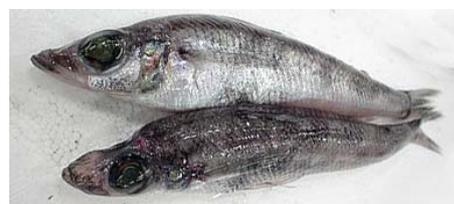


◆「メヒカリ」

宮崎県北部、延岡市の名物である「メヒカリ」は、標準和名は「アオメソ」といいますが、深海性で目が大きく、眼球がエメラルドグリーンに輝くことから「メヒカリ」と呼ばれるようになりました。

ハゼ科の一種で、体調10～15cm程度。日向灘の大陸棚に多数生息し、宮崎県内での主な主産地は北浦町を含め、延岡市や門川町などで、漁期のピークは12～1月の冬と7～8月の夏です。

味は淡泊で骨が柔らかく、唐揚げをはじめ、姿焼きや南蛮漬けなど、地元の郷土料理として親しまれています。



「メヒカリ」(アオメソ)



「メヒカリ」の唐揚げ

活動報告

NPO法人かまえブルーツーリズム研究会では、10月20～21日、長崎県西海市の海の駅「船番所(ふなばんしょ)」のみなさんの視察を受け入れ、同研究会の取り組みの概要説明や意見交換を行いました。

また、10月26日には、大韓民国より保寧市(ぼりよんし)日本研修団、20名の方を受け入れ、日本におけるブルーツーリズムの説明や地域活性化の意見交換を行いました。



海の駅「船番所」の皆さん



活動報告

◆道守一斉活動を開催しました。

道守みやざき会議は、毎年「道守の日」を決めて県内で一斉に道守活動を展開しています。

今年は10月23日を「道守の日」とし、その前後の日程で、県内で14箇所、北浦町では「ひかり児童クラブ」と「なでしこの会」さんが道路の清掃、除草作業などを行いました。

活動に参加された皆さん、大変お疲れ様でした。



お知らせ

◆浦(URA)文化復興(ルネサンス)プロジェクトシンポジウムが開催されます。

日豊海岸ツーリズムパワーアップ協議会では、11月25日(金)、14:30～臼杵市中央公民館で「浦(URA)文化復興(ルネサンス)プロジェクトシンポジウム」を開催します。「旅する心に宿るもの」と題して、神津カンナさんの基調講演もあります。

◆九州風景街道 道のフォトコンテスト(第2回)開催中！！

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会では、日豊海岸シーニック・バイウェイ周辺の道から見た美しい自然風景などの写真を募集しています。

☆ 応募期間 平成23年10月20日～平成24年1月20日

☆ 撮影期間 平成23年10月以降に撮影された四季の写真

☆ 応募資格 プロ・アマチュアを問いません。未発表のものに限ります。

※詳しい応募方法等については、「日豊海岸シーニック・バイウェイ」ホームページに掲載しています。



<http://kyushu1-saiki.sakura.ne.jp/nippou-kaigan/nippoukaigan.html>

◆問い合わせ・送付先: 日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会
〒876-0831 大分県佐伯市大手町2-3-8 佐伯市観光協会内
TEL:0972-23-1101

東九州自動車道建設情報



★延岡道路「北川第一トンネル」が貫通しました。

平成24年度中の開通を目指す「延岡道路」(北川IC～延岡JCT・IC)の「北川第一トンネル」(延岡市北川町 630m)が、10月31日に貫通しました。貫通式には、地元区長など約100人が出席し、通り初めや鏡開きなどをして貫通を祝いました。

延岡道路では、8本のトンネルが建設予定で、今回が7本目の貫通となりました。



東九州自動車道(佐伯～北川間)の工事進捗状況写真が下記URLでご覧いただけます。

佐伯～県境間URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/saiki/higashisnchoku/higasikyuuushuu.html>

県境～北川間URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/douro/higasikyushu/index.html>

◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆

URL: <http://kyushu1-saiki.sakura.ne.jp/nippou-kaigan/nippoukaigan.html>

皆様からの情報提供をお待ちしております。

問い合わせ先

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0831 大分県佐伯市大手町2丁目3番8号(佐伯市観光協会内)

tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 調査第二課
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489